

◆ 住まいを考えたときのチョット情報 ◆

こだわりの住まいを建てたいなら・・・

「こだわりイメージ」を詰めながら、「譲れないポイント」をみつけよう。・・・の巻

楽しく・居る・空間
あなたの空間づくりをお手伝いします

楽居空

「こだわりイメージ」を吐き出したら、今度は設計士と一緒に「こだわりイメージ」を見直ししながら「譲れないポイント」を煮つめていきます。

「こだわりイメージ」の中から「譲れないポイント」を自由に語りましょう。

すると、設計士はこう思うでしょう。

「この住まいの方向性（メインテーマ）を建物に表現してあげたい。」

特に説明を補足しなくても、この住まいのこだわりが感じられる事。

これが、本物の「こだわりイメージの住まい」なのです。

「こだわりイメージの住まい」は、語りやすく・わかりやすい とは、
「譲れないポイント」をお客様自身で深く理解されているからこそ、
「語りやすく・わかりやすい住まい」となります。

「こだわりイメージ」を詰めながら、「譲れないポイント」をみつけよう。

◆ 「譲れないポイント」のススメ

「こだわりイメージ」を詰めながら、「譲れないポイント」をみつけましょう。

① 「こだわりイメージ」の中から「譲れないポイント」をみつけよう。

新しい住まいの全体像、新しい生活スタイルを夢に描いていきます。

「こだわりのイメージ」を詰めながら、自分の思いにもう一歩踏み込んでみて、
本当に譲れないポイントをみつけていきましょう。

例えば、機能・利便さなど目に見えるものもあります。

また、安らぎ・癒しなど目に見えないものもあるでしょう。

どんな観点でもいいんです。

② 「なぜ譲れないのか？」を具体的に考えてみる。

「譲れないポイント」について、そんな風に考えた理由があるはず！

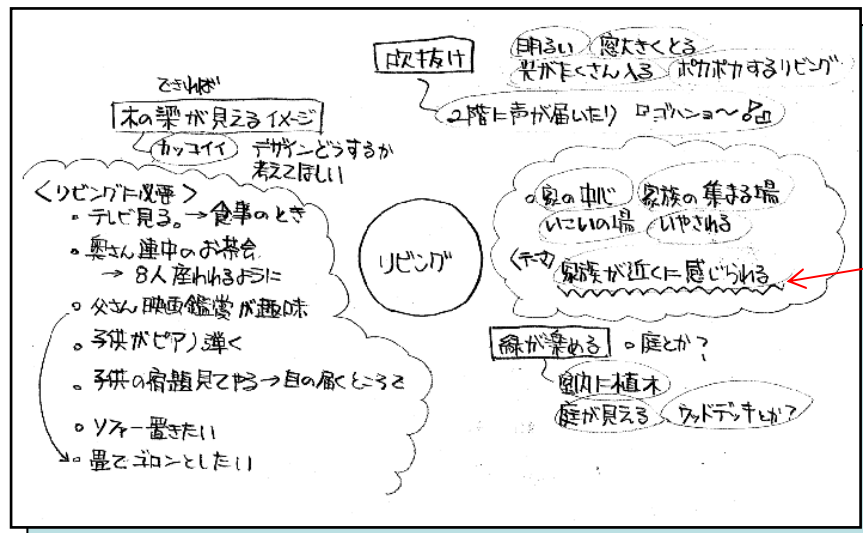
漠然としたイメージだけで説明できないといってあきらめず、

まずは、そのまま伝えてみましょう。

「ココはこんな思い入れがあるんだ！」「こんな風に生活がしたいんだ！」

設計士に自由に語って、気付かせてあげましょう。

◆ 設計士とともに、「こだわりイメージ」から「譲れないポイント」をさがそう！



設計士

このご家族は、この住まいのテーマを「家族が近くに感じられる」と話されています。

このことから、家族の繋がりが一番の喜びなんだなと感じられます。

設計士は、こう考えました。
リビングを中心に、家族が楽しんで、協力して、集まれる空間を散りばめた住まいはどうだろうか？



ご家族

